

魚籃観音展望所

福江島の西端にあるこの展望台からは、海岸線と東シナ海が一望できる。南には青い海と白い砂浜の高浜海水浴場がある入り江があり、北の貝津港近くには、玄武岩質の溶岩の角ばった黒い塊が海岸に散らばっている。

海を見下ろす台座の上には、魚籠を抱えた観音菩薩の石像がある。観音像にはさまざまな形があるが、「魚籃観音」と呼ばれるこの像は珍しい。

中国や日本の美術では、魚籃観音は唐代の民話に由来しており、観音は美しい魚屋に化けている。

仏教の教えを広めるため、彼女は求婚者にお経を暗記するよう勧める。

この像は、漁師たちが海の安全と豊漁を祈願する場所として建立された。実際、観音様の籠の中の魚は大きな鯛で、日本文化における吉祥のシンボルであり、五島で最も人気のある魚のひとつでもある。